

eラーニングを活用したダンス授業の実践報告

保健体育科 野村いずみ

本校では、ダンスを週に1度、選択授業として剣道、柔道を含めた中で実施している。授業では、前期に現代的なリズムのダンスなどを通し、身体の動かし方や身体の解放の仕方を学んでいる。そして、後期には、クラスごとにダンスを創作し、石川県高等学校合同ダンス発表会に参加している。

しかし、ダンスは、中学校では、選択種目として扱われるため、高校で初めてダンスに触れる生徒も多い。授業開講時には、ダンスに関しての経験、知識に大きな差がみられる。その差をeラーニングで補えるのではないかと考えた。

また、4月から9月にかけてはYOSAKOIソーラン、エアロビクス、フォークダンスなど振りが決まっているダンスを学習する。しかしながら、ダンス経験の少ないものにとっては、振り付けを覚えることは困難である。授業の中でグループ練習を取り入れ、お互いに教えあっているが、習得した振り付けも次の時間には忘れてしまうことがたびたびある。また、一昨年、発表会に向けて踊り込んでいるとき、自分たちで考え出した振りではあるが、覚えることができず、困っていた生徒がいた。そこで、ダンスをビデオに撮り、貸し与えた。生徒は、家で何度も復習し、発表会で自信を持って踊ることができた。その様な経緯から、家庭でも学校でも1人で学習を深めることができるeラーニングをダンスの授業に活用できないかと考えた。

キーワード：動画 自学自習 eラーニング

1 はじめに

本校の体育では、以前は1・2学年で武道（柔道・剣道）そしてダンスの2領域から1つを選択して、2年間継続履修していた。しかし、2003年に新高等学校指導要領が実施され、本校では、3年間で9単位行っていた体育を8単位へと変更した。それにもない、ダンスは1年次のみ行なうこととなった。1年生にとっては、週に3時間体育があるうちの1時間である。ダンス履修にかかる時間は半分になった。習得させたい内容を精選するのは難しいが、石川県高等学校合同ダンス発表会の参加は続けている。そこで、ダンス学習が充実するような手立てを講じたいと考えた。

ダンス学習事前アンケートを通して、1・2年生と

続けて2年間履修する生徒と現在のように、1年間履修する生徒の意識の変化を踏まえながら研究を進めていく。

昨年、作品づくりに入る際、インターネットで動画を探し、言葉ではなかなか伝わらないイメージの共有をグループではかる姿がみられた。また、これまで作品づくりの踊り込みの過程において頻繁にビデオカメラを利用し、各自が踊りをチェックした。自分自身の動きを客観的に見ることが、作品づくりにおいては重要であった。ダンスでは、動きを言葉だけで伝えるのは難しく、動画を利用した教材が有効と思われる。

昨年、金沢大学から「重点教材作成資金」を得て、教育実習を控えている学生に身につけさせたいダン

スの知識をまとめている。これを足がかりに研究を進めていく。

2 研究の目的

eラーニングを、①中学校のときに学んでこなかった生徒に対する手当て、②授業で学びきれなかったことを補う手立てとして活用し、ダンスの知識・技術を高める。

3 研究方法

(1) 調査

①ダンス学習事前アンケート

目的－過去のダンス経験、選択した理由、学習したいダンスなどを調べ、2年間履修時と1年間履修の実態を比較する

②Webダンス教材「チアリーディング」アンケート

目的－Web教材利用にあたっての利点、問題点を探る

(2) ダンス学習におけるeラーニングの活用

①欠席者への手当て

②Webダンス教材「チアリーディング」の活用

4 結果と考察

(1) 調査

①ダンス学習事前アンケート

【結果】

- ・この3年間は、40名を超える選択者がいる。
- ・男女の比率を見ると、1998年の方に男子が多い。
- ・小学校でダンスの経験がないと答えている生徒はほとんどいない。中学校でダンスを経験しなかった者が、半数を超えるときがある。
- ・ダンスを選択した理由として、以前と現在を比較すると「買わなくていい」「どれかを選ぶ」というダンス学習に取り組むにあたって消極的な考えを持つ者が少なくなった。

- ・学習したいダンスとして、「ジャズダンス」「社交ダンス」「フォークダンス」「創作ダンス」をあげる者が以前と比べると現在は少ない。「ストリートダンス」を学習したい生徒は、以前も現在も20%をこえる。

【考察】

- ・附属中学校では、ダンスの授業が行われていないため、「中学校でのダンス経験がない」と答える生徒が多いと考えられる。
- ・1998年ごろは「ジャズダンス」がはやっていた。近年は、それほどでもないため、学習したいと考える生徒の数が現在は少ないと考えられる。
- ・「ストリートダンス」では、流行しているダンスが踊られるため、学習したいと考える生徒が現在も多いと思われる。

②Webダンス教材「チアリーディング」アンケート

【結果】

- ・このようなWeb教材を初めて利用した者は34人（85%）であった。
- ・Web教材をこれまでに利用したことがある者に聞くと、塾や通信教育、学校（授業）での利用であった。
- ・利用した場所をたずねると、「家」での利用が全体の3/4であった。
- ・学校で利用した者のうち一番多い時間帯は、「昼休み」であった。学校で利用する場合は、「ひとりで」ではなく、「ダンス選択者」「友人」と答える者がいた。
- ・この教材の利点として、「何回でも利用できる」と答えた者が半数を超えていた。
- ・利用しづらいところとして「文字が消えてしまう」「家でインターネットが使えない」などがあった。

【考察】

- ・本校のパソコンルームは、42台のパソコンが設

置され、休み時間、昼休み、放課後など自由に使用することができる。総合的な学習や情報の課題を行う姿をよくみる。しかし、学校よりも自宅での使用が全体の3/4を超え、グループ活動ではなく、ひとりで取り組む課題には、家の方が都合がよいのであろう。

・利用のしづらさにおいて、文字情報が画面に映し出される時間が短いと考えられる。また、動画と文字が同時に画面に出てくるため情報過多の部分があるようだ。また、「家でインターネットが使えない」という意見もあった。自宅のパソコンがインターネットに接続されている状況は95%を超えている。しかし、家庭で使えない生徒のことを考えると、学校でのパソコン利用を前提とした計画をたてなくてはならないだろう。

パソコン所有とインターネット接続状況（2008年1年生）

	A	B	C	合計
人数	16	12	13	41
家庭でのパソコンの有無				
ある	16	12	12	40
なし	0	0	1	1
インターネット接続状況				
接続	16	12	11	39
接続なし	0	0	2	2
携帯電話の有無				
ある	16	12	13	41
なし	0	0	0	0
インターネット接続状況				
接続	15	10	11	36
接続なし	1	2	2	5

(2) 実践報告

①授業欠席者のための補充

1学期YOSAKOIソーランのなかのFUNKよさこいを行った。この曲の一部を生徒にグループごとに創らせた。振りが同じであるところと、グループごとに踊るところを組み合わせている。発表としてクラス全体をビデオカメラで撮った。

その後、ダンス選択者すべてが各クラスの発表を共有できるように、最後の授業は、作品鑑賞と自分について、友人について作品そのものについて反省を行った。「自分を客観的に見つめなおす機会になった。」「大きく踊ること、手足の動かし方がたいせつだ。」「自分が『これは大げさだ』と思うくらいが見て丁度いいんだろうなと思った。」と自分自身を第三者的に見つめ直す場面が見られた。この最終的なまとめの授業に欠席した生徒には、パソコンを利用して、この3クラスの発表を見せ、授業のまとめをさせた。

②Webダンス教材「チアリーディング」の活用

次回チアリーディングのダンスに入る予習としてWebダンス教材「チアリーディング」を利用した。生徒にその教材を使用し、チア・スピリット、チアリーディングの技術、構成の工夫、スタントの4項目について知識をまとめさせた。また、教材を利用した感想、利点、欠点を含めて答えてもらった。

*Webダンス教材「チアリーディング」

チアの歴史、技術などを動画とともにまとめたものである。

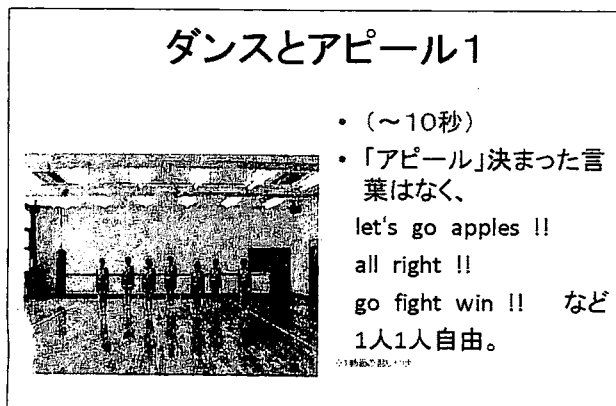
*Webダンス教材作成のプロセス

金沢大学では、2004年から全学規模でe-Learningの普及を進めている。教材作成の負担軽減のために学生参加型の教材作成支援体制を立ち上げている。ダンス教材「チアリーディング」はこのサポートを受けた。

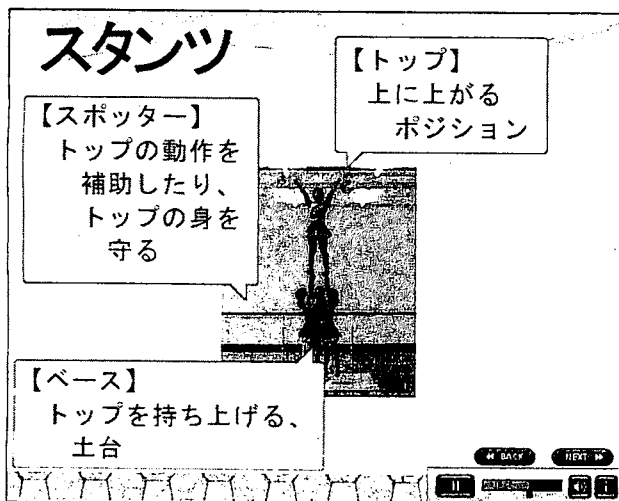
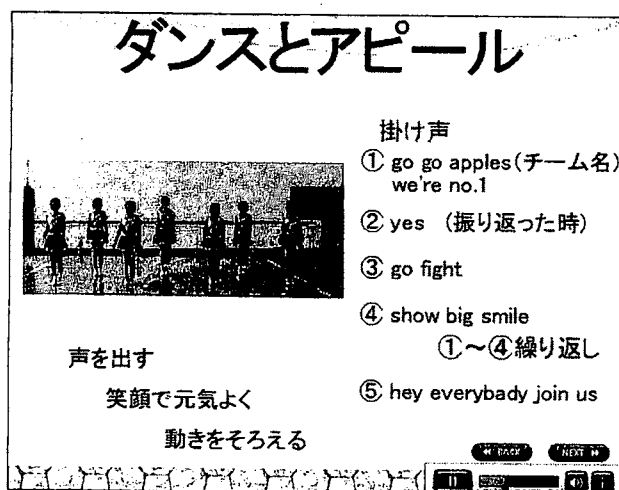
金沢大学の教材作成支援室の学生アルバイトリーダー、チアリーディングクラブの代表とミーティングを行い、これからの計画について確認した。日程を決めチアリーディングクラブの協力を得、ビデオ撮影をした。原稿作成には、チアリーディングクラブの代表者とメールで連絡を取り合い、原稿を起こ

した。その後、動画と原稿を編集してもらった。これもメールでやり取りした。

元原稿



*Webダンス教材「チアリーディング」



：スタッツとは組み体操，チアリーディングの技術の一つ。

5 今後の課題

ダンス授業を展開するにあたって、どのような形で活用することが最善なのか模索中である。Webダンス教材「チアリーディング」においては、授業の予習として活用した。これから授業に入る中で検証していきたい。また、教材について、情報を受け取りにくいという問題点がある。教材自体の完成度を上げなければならない。

また、この教材を授業に活用したいという先生がおり、使用していただく予定である。その感想を分析し、これからの教材開発に役に立てたいと考えている。創作活動時におけるeラーニングを活用した授業の実践については創作が開始されるのが10月過ぎで、踊りこみが1月の予定である。ここでは報告できないが、その様子も記録に残していきたい。

なお、本研究は、平成20年度科学研究補助金の支援を受けている。

参考文献

- (1) 鈴木恒雄他『教材開発とe-Learningの学内普及へ向けての取り組み』メディア教育研究，2006，Vol.2 No.2，pp11-17
- (2) 秦恵美子『高等教育研究』金沢大学教育学部附属高等学校・高校教育研究会，1999，第51号，pp41-55
- (3) 『高等学校学習指導要領』文部省，2004
- (4) 『高等学校学習指導要領解説保健体育編体育編』文部科学省，1999

1年 ダンス選択者

		男	女	男	女	合 計
1998年 (H10)	A	3	10	14	20	34
	B	8	3			
	C	3	7			
2006年 (H18)	A	3	13	6	38	44
	B	0	10			
	C	3	15			
2007年 (H19)	A	1	11	9	37	46
	B	4	14			
	C	4	12			
2008年 (H20)	A	0	16	0	41	41
	B	0	12			
	C	0	13			

ダンス学習事前アンケート（対象 1年ダンス選択者）

		1998年 (H10)	1999年 (H11)	2006年 (H18)	2007年 (H19)	2008年 (H20)
人数	合計	34	38	44	46	41
	一般中	17	17	20	20	17
	附属中	17	21	24	26	24
授業でのダンス経験						
中学校						
	ある	11	15	19	23	15
	なし	23	23	25	23	26
小学校						
	ある	—	—	40	44	38
	なし	—	—	4	2	3
その他						
	ある	—	—	10	10	4
	なし	—	—	34	36	37
ダンスを選択した理由 (複数回答)						
	好きだから	8	10	12	7	1
	武道がいやだから	1	7	6	5	3
	どれかを選ぶと	8	5	3	3	2
	買わなくていい	13	15	4	2	5
	友達の誘い	3	2	0	2	0
	らくそうだから	5	2	0	0	0
	楽しそうだから	—	—	13	18	15
	その他	12	17	12	18	6
学習したいダンス (複数回答)						
	創作ダンス	4	8	2	2	0
	フォークダンス	5	7	0	1	0
	社交ダンス	5	10	1	2	0
	ジャズダンス	10	6	1	0	0
	民謡	2	1	1	0	0
	エアロビクス	3	5	0	0	0
	ストリートダンス	11	21	10	22	16
	タップ	—	—	4	4	0
	よさこい	—	—	2	1	0
	チア	—	—	1	4	0
	ポップミュージック	—	—	3	1	0
	何でもすべて	—	—	10	8	5
	特になし	—	—	9	7	7
	その他	—	—	1	6	3

*2006年度以降は、自由記述。複数回答あり。

Webダンス教材「チアリーディング」アンケート 集計

	A	B	C	合 計
人数	15	12	13	40
Web教材を利用するのは初めてですか。				
はい	13	12	9	34
いいえ	2	0	4	6
いいえと答えた方：どこでどのような目的で利用しましたか。				
<ul style="list-style-type: none"> ・塾 ・通信教育（漢字検定・数学検定） ・中学校（体育） ・中学校授業 				
この教材をどこで使用しましたか。（複数回答）				
学校	2	4	5	11
家	13	8	10	31
携帯電話	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
学校と答えた方にお聞きます。利用した時間はいつですか。（複数回答）				
始業前	0	0	0	0
休み時間	0	2	0	2
昼休み	0	2	5	7
放課後	2	0	0	2
その他	0	0	0	0
このWeb教材を誰と利用しましたか。（複数回答）				
ひとりで	15	11	9	35
ダンス選択者	0	0	2	2
友人	0	2	4	6
家族	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
この教材を利用するに当たっての利点は何ですか。（複数回答）				
どこでも利用できる	3	1	2	6
いつでも利用できる	4	2	2	8
何回でも利用できる	7	10	7	24
動きを確認できる	2	3	4	9
その他	0	0	0	0
利用しづらいところがありましたか。				
はい	2	3	4	9
いいえ	13	9	9	31
はいと答えた方：それはどのような点ですか。				
<ul style="list-style-type: none"> ・文字が消えてしまう（一時停止が面倒）。 ・無駄なアニメーションが多くて見づらい。 ・パワーポイントが勝手に進んでいって、見たい所をとめて見ることができない。 ・家でインターネットが使えない。 ・ケータイがパケ放じゃない。 ・友達がケータイでやってみたらしいが、ひらけなかったらしい。 ・スタンプのところが消えるのがはやくて、何回も見なくてはいけなかった。 ・字がちょっとずつでてくるので見にくい。字がうすくなって見えない。 				